

発表項目 (行事名)	「多文化共生に係る地域研修会 in 北見」の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>本年4月の改正入管法の施行に伴い、道内に在住する外国人の増加が見込まれることから、市町村職員や生活支援関係者及び住民の皆様を対象に、多文化共生社会の形成に向けた各種情報提供を行うとともに、外国人の方々の即効性のあるコミュニケーション・ツールとして導入・普及が期待されている「やさしい日本語」の研修会を下記のとおり開催します。</p> <p><b>1 日 時</b> 令和元年12月4日(水) 14:10~16:10</p> <p><b>2 会 場</b> 北見経済センター 2階「2号の2」</p> <p><b>3 主な内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生に係る国や道の施策説明</li> <li>・「やさしい日本語」研修</li> <li>・その他(質疑応答等)</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">やさしい日本語…基礎的な日本語能力を有するものの、十分な理解に課題のある外国人に伝わるよう作成された文章。難しい日本語が理解できない外国人と、外国語が苦手な日本人のコミュニケーションが可能となり、地域の方々が広く習得することで多文化共生が推進される。</p> <p>例) 通常の日本語 : 容器をご持参の上、中央公園にご参集ください。        やさしい日本語: 入れるものを 持って 中央公園に 集まって ください</p> <p><b>4 申込方法</b></p> <p>別紙チラシの裏面「参加連絡票」により、12月2日(月)までに、下記送付先にFAX又はメールにて送付。(チラシは北海道総合政策部国際課のホームページからダウンロードできます。  <a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/chiikikenshu.htm">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/chiikikenshu.htm</a>)</p> <p>[送付先]        北海道総合政策部国際課プロモーショングループ(神原、大西)        電話: 011-204-5114        FAX: 011-232-4303        E-mail: somu.kokusai@pref.hokkaido.lg.jp        (※kokusaiの後の文字は、数字の1です。)</p>		
参 考	当該研修会は北海道として今年度新たに実施するもので、道内約18か所で開催を予定しています。(北海道総合政策部国際課主催)		
報道(取材)に当たってのお願い	<u>地域において外国人の受入に関わる方や、関心がある多くの方々にご参加いただきたく、積極的な報道をよろしくお願ひします。</u>		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課(担当者: 伊藤 ) TEL ダイヤルイン 0152-41-0620		

# 多文化共生に係る地域研修会 in 北見

本年4月の改正入管法の施行に伴い、道内に在住する外国人の増加が見込まれることから、道内各地域において、**市町村職員や生活支援関係者及び住民の皆様を対象**に、多文化共生社会の形成に向けた各種情報提供を行うとともに、外国人の方々との即効性のあるコミュニケーション・ツールとして導入・普及が期待されている「やさしい日本語」の研修会や意見交換会を下記のとおり開催しますので、皆様のご参加をお待ち申し上げます。



**日時** 2019年12月4日(水) 14:10～

**会場** 北見経済センター 2階「2号の2」  
(北見市北3条東1丁目2番地 TEL. 0157-23-4111)  
※会場アクセスは下記Webサイトをご参照ください。  
<https://www.city.kitami.lg.jp/docs/210/>

**主催** 北海道 **定員** 30名 参加無料

**申込方法** 裏面の参加連絡票により、12月2日(月)までにお申し込みください。

## 内容

### ①14:10～16:10 地域研修会(120分)

参集対象:市町村、国際交流・経済・産業団体、外国人材受入企業、教育関係機関、医療・福祉関係機関、個人ボランティアのほか、関心のある住民の方などを広く対象

(14:10～14:30) 開会/主催者挨拶、国や道の施策説明(北海道国際課)

(14:30～16:10) 「やさしい日本語」入門編研修(質疑応答を含む)  
(やさしい日本語の導入意義、概念、実用例の紹介)

講師:北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 地域比較共同研究員 高本 康子  
(札幌市内専門学校 日本語教師養成講座 講師)

#### 【やさしい日本語】

基礎的な日本語能力を有するものの、十分な理解に課題のある外国人に伝わるよう作成された文章。難しい日本語が理解できない外国人と外国語が苦手な日本人のコミュニケーションが可能となり、地域の方々が広く習得することで、多文化共生が推進される。

例) 通常の日本語: 容器をご持参の上、中央公園にご参集ください

やさしい日本語: 入(い)れるものを、持(も)って、中央(ちゆうおう)公園(こうえん)に 集(あつ)まって ください

### ②16:20～17:10 市町村との意見交換会(50分)

参集対象:市町村の多文化共生を所管する部署等の職員

内容:外国人の受入状況や地域の課題、ニーズ等の情報・意見交換

# 参加連絡票

会場名：北見

## 送付先

北海道総合政策部国際課プロモーショングループ(神原/大西)

FAX: 011-232-4303

E-mail: somu.kokusai1@pref.hokkaido.lg.jp

(恐れ入りますが、12月2日(月)までに、本票をFAXまたはメールにてご送付ください)

## 参加登録(個人参加者様用)

①氏名	
②お住まいの市町村	
③電話番号	
④メールアドレス	
⑤職業(任意記入)	

## 参加登録(市町村・企業・団体参加者様用)

①団体等名称	
②ご連絡担当者 職・氏名	
③電話番号	
④メールアドレス	
⑤参加者の所属・職・氏名	

※市町村職員の方で②の意見交換会にご出席される方は○をご記入願います。

